

花巻市東和地域協議会
平成26年度第1回会議記録

日 時	平成26年7月22日(火) 13:15~15:05							
場 所	花巻市東和総合支所 1階 第1会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	委 員	下林 育男	○		委 員	熊谷 惠	○	
	委 員	鎌田 榮一	○		委 員	多田 保子	○	
	会 長	小原 宏	○		委 員	大久保 浩二	○	
	委 員	伊藤 功	○		副会長	松葉 孝博	○	
	委 員	吉田 英雄	○		委 員	渡部 久美子	○	
	委 員	小原 順	○		委 員	柳谷 励子	○	
	委 員	小川 洋征		○	委 員	平野 悠広	○	
	委 員	下坂 淳代		○				
出席職員	<p>総合政策部</p> <p>部長 八重樫和彦</p> <p>秘書政策課 課長 藤田哲司</p> <p>企画調整係長 寺林和弘、主任 佐々木勝也、主任 吉田真彦</p> <p>東和総合支所</p> <p>支所長 佐々木力弥</p> <p>地域振興課 課長 菅谷一雄</p> <p>課長補佐 照井美智彦、上席主任 新田正幸</p> <p>市民サービス課 課長 川村勝夫</p> <p>地域支援室 地域支援監 青木力三</p>							
傍 聴 者	0名 (うち報道機関0名)							

司会：地域振興課 課長補佐 照井

(会議に先立って、辞令を交付)

1 開会 (司会)

2 あいさつ (東和総合支所長)

3 委員紹介（菅谷地域振興課長）

4 地域自治区及び東和地域協議会の概要

※資料により説明（新田上席主任）

5 花巻市まちづくり総合計画第1期中期プランについて

※資料により説明（八重樫総合政策部長、藤田秘書政策課長）

●地域振興課長

市側の方から中期プランについてかいつまんで説明をさせていただきましたけれども、大変厚い資料でございます。具体的にこういうところ聞きたいとか、そういう話にはたぶんなれないかとは思われますけれども、もし、この場でですね、このことについて質問したいということがあればですね、挙手をお願いしたいと思います。

●小原宏委員

確かに厚い資料なので、皆さんの資料を見ると、開いた形跡がないように見受けられますので、私2回目だから開いたので、それで代表みたいな格好になるかと思いますが、ちょっと教えて欲しいんです。

152ページの人づくりの分野というのがあります。その中で3の就学前教育の充実と、いうところ、もう少し具体的に、金額も相当の金額入っておりますので、この辺あたりをご説明願えればありがたい、いうふうに思います。

●秘書政策課長

この152ページの就学前教育の充実でございますが、今、花巻では、就学前、学校に入る前の就学は、幼稚園と保育園とありまして、もっと言うならば、そういう幼稚園教育と保育所の保護処置、それが今、一緒の状態です。今度27年から始まる、子ども子育てという新しい政策に変わってくるんですが、この場合、現状で可能な限りの予算を事業費を当てはめたところが、1から5番目のそれぞれの、例えばということで事業あげておりましたが、その詳しい事業の解説につきましては、いったん93ページに戻っていただきまして、これは、大きな政策3の1、子育て環境の充実というところからまいって、93ページの施策の3でございますが、ここは事業費入ってございませんけれども、例えば、保育園とか幼稚園の施設整備、今回から入ってくる幼保一体による就学前教育の推進というふうなことを掲げて、進めていこうという考えでございます。

●小原宏委員

わかりましたが、93ページをもう少し具体的に見ますというと、確かにこの通りでございまして、園舎の老朽化や入園者が少なくなっている、ということだろうと。これは事実でございすから、その通りでございすますが、それにともなってもあるかと思いますが、いろんな法律の関係から、施策の方向として、公立保育園の再編ということが出てまいっております。この辺あたりは、具体的にはどのような、時期的にはどのようなことで、どのように進むだろうかということがわかれば、お知らせ願えればありがたい、というふうに思います。

●総合政策部長

ただいま、藤田（秘書政策課長）がお答えいたしましたように、子育て支援は、非常に先ほどの人口減少対策の重点施策のひとつの内容になっている、ということございまして、市としても、現在、教育委員会教育部のこども課というところが担当でございすけれども、これからの花巻市の子ども、子育て計画を作っていこうということで、法に基づく会議、条例に基づく会議を設けましてですね取り組んでいく、ということにしております。その中で具体的にこれから花巻市の子どもさんたちが、これからどのような人数になっていくのかという推計の基に、それを担う、いわゆる就学前の学校に上がる前の子どもさんたちの生育を担う保育園であり幼稚園、これのあり方についても検証していくということにしております。その中で再編というものはですね、例えば方向性の考え方として、これやるって意味じゃなくて、考え方としては、例えば公立で市の保育士の職員が職務を担うという方法もあれば、民間の保育園、保育所、あるいは幼稚園にそれをお任せをするということで、子どもさんが少なくなるというのは、これはもうわかっている状況ですから、これをどのように花巻市として施設に入所いただいて就学前教育に持っていくか、ということでありまして、可能性の中には、例えば今、叫ばれております認定こども園の設置なんてのもございすし、それから公立保育園の民営化という方向も、これは検討の中には入ってくるだろう、ということございす。具体にはまだ何も決まったものではございせんので、方向性はまずこの計画にあげて、そして具体的にこれから検討していこうということございす。当然、皆さんのご意見も伺いながらということございすので、よろしく願います。

●秘書政策課長

具体的に、その計画を今進めようとか出してることはありません。

●小原宏委員

はい、わかりました。

●地域振興課長

今回ですね、1回目ということで、初めて顔合わせてですね、こういう分厚い資料を見てです

ね、ん？って思っているかもしれませんが、まずは、今、市の方から説明された、まだ、確定してない、これから検討していくという部分も結構あるんで、そういうところですね、今後いろいろ皆さんと話し合いながら進めるということになると思いますので、まずは、例えば、ここで質問して欲しいというのは、方向性とかどんなものでしょうか、そういう素朴な疑問とか、もしありましたらば、お願いできればと。

●渡部久美子委員

今ので、就学前教育の充実ってあるんですが、今現在、まだ就学前で一生懸命子育てをされてる親御さんとかが、ちょうど空白期間といたら変ですけど手厚い事業にも恵まれず、というのがあると思うんです。やっぱり子育てって、今計画していてじゃあ今の年長さん年中さんはそれにはならないので、それこそ早め早めじゃないですけども、試しっていうのもおかしいとは思いますが、いろんなのを計画して、試してみたっていったら変ですけど、じゃあ考えるのに何年かけてっていったらうちに、もう子どもたちは小学校に入り中学校に入りってというようなことになるので、やっぱりスピードも必要なのではないかなって思いました。

●総合政策部長

渡部委員さんのご意見ありがとうございます。いずれこの計画推進にあたっては本当にスピード感をもって取り組んでいかなければならないということで、まず、本当は25年度中にこのプランを作ってますね、そして26年度の予算に反映させて、もうすでに動いています、という状態にあるべきものだったわけですが、今まだ素案という中で動いているということでございます。ただ、子育てにつきましては、本当にこの1番の事業だというふうに考えておりますので、教育部の方でまさに子ども子育て計画を、今作ろうということで動いているところでございます。ご意見としてお伺いしたいと思います。ありがとうございます。

●地域振興課長

そのほか、ございますでしょうか。

●下林育男委員

なんといってもこのビジョンの最初に少子高齢化ということなんですが、10年後には当市の人口が1万人以上も減少する数でございますが、これを打開するにはやはり地域各年代とかいろいろなんです、取り組みが必要じゃないかと思えます。それで、私の地域も末端地域でですね、最初の日には市議会議員の選挙、候補者が来ましたが、昨日は来ない。末端地域はやはり疎外感っていうのが結構あります。それでそれをどのようにですね、中央との連携とかそういうことで、私たちは常日頃考えているんですが、なかなか妙案が出ないです。やはり私たち成人じゃなく、もう少

し年代を下げ、小学校の高学年の子どもの、その地域、住み良いか、どこが良いのか悪いのか、自然が豊かで良い、っては言うんですが、その良さっていうのを良く私たち実はわかんないんですよ。それで、こういうことがありました。農家体験で都会からですね子どもたちが来ると、ほんとに空気おいしい、緑がきれい、ああこの草が、何の草かわからないけど色が良いとかね。私たち常日頃忘れていることを都会の子どもたちがそう言って、私たちに元気をくれるんですよ。そういうことで、これからですね、いろいろな機会あると思いますが、やはりこの地域だけでなく、この協議会もですね、ちょっと足を伸ばして、どっかとの交流というのも、これは必要じゃないかなと、つくづく考えておりました、それも同じ年代というより、多少先輩さんたちとか、少し年齢を下げたとか、そういう交流も良いのじゃないかなと、考えております。よろしくお願ひします。

●東和総合支所長

下林さん、本当にありがとうございます。少子高齢化ほんとに大きい課題でございます。花巻の人口ですね、合併時には10万5千ただいまは10万ちょっと。東和地域におきましては合併時1万400、現在は9,300ということで、1,100人ほど減ってございます。地方と言いますか、旧3町ほど減少率が激しいという状況にあります。その中でやっぱり、定住ですね。花巻市全体ではトータル的な施策をこれからどんどん展開してくということもありますし、東和地域、各地域におきましてもですね、それぞれ特色のあるですね、やっぱり取り組みをしていかなければならないという風に思っております。東和地域、東和町時代からそういった施策、展開をしてございまして、都市と農村交流、そして新規就農者の就業支援等々行ってございます。私もその担当を何年かささせていただきましても、ほんとに東和に住みたいという方が、今でもやっぱり問い合わせがございまして。柳谷さんもその一人でございます。ということでそういったですね、地域の特色と言いますか、良いところをですね、やっぱり情報発信していくというのが一番大事だろうというふうに思っております。ということで、皆様からですね、色んなご意見いただきながら、そのときは進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

●地域振興課長

結構な時間もう、会議が始まってからもうあらまし1時間ぐらい入ってきてるんですけども、だいたい質疑を終わらせてから、休憩を1回取りたいなと思っております。まだ、ほかにご意見とか質問したいことがもしありましたら。

●熊谷恵委員

素朴な質問でよろしいですか。ただいま、いろいろとご説明を伺いまして、就学前の子どもたちとか、順調に小学校中学校に通えるお子さんは良いとして、この花巻市で現在登校拒否になっていらっしゃるお子さんたちは、だいたいどのくらいいらっしゃるのかなと。そしてそういう子どもた

ちに対する支援というか方策というかそういうのを花巻市では持っているのかどうか、ちょっとすいません私知らないもので。

●秘書政策課長

平成24年の数字で申し上げますと、小学生が13人中学生が41人。これは不登校児童生徒の24年度の数でございます。対策でございますが、教育委員会で先生方を囑託お願いいたしまして、そういう子どもたちのケアするような、学校周りしながらケアするような組織をまなび学園の3階に持っております。そこにですね、不登校で行けなくても、授業あるいは教科書もってそこで勉強したりという子どもたちもおまして、全くの場合もあるようなんですけれども、ある程度人前に出ても良いような人たちは学校に行かないで、まなび学園の方で、ちょっと自分の自習のようなことをやっている生徒もおます。ただ、ほんとに面談をしつつその子の不安を取り除いていくことが各学校の方でそれぞれやってるようですが、決して増加あるいは減少ということはなるべく少なくしていく方策を考えていきたいとは思いますが、なかなかそこは、対策を考えるっていうふうなことが今の施策でございます。

●熊谷恵委員

例えばですね、毎日学校に行っても、どうしても理解のできないようなお子さんが居るのに、学校に行かないで授業を受けないで、ついて行けるのかというか。そういうのを例えばですね、中学校まででしたらば、これは義務教育で決まっているものですから、それはそのようにって、していかなければならないということではあるんですが、高校生になった時には手を離してしまう、もう自分たちの責任じゃないよっていうような…。人口が減っているし子どもたちを皆さん余所から呼んで、こんな良いところだよっていう、花巻市はこんなすばらしいんだから、人口増加させるって言うんだらば、やっぱり足下から本当にそういう子どもたちが、あ、ここに生まれて良かったっていうような気持ちを持たせるように、行けない子は行けない子なりにいろんなことがあるので、努力なさって下さっているのはわかるんですけれども、通り一遍っていうような感じにどうしても私、部外者からしてみると見てしまいがちなので、この子たちは大きくなったらどうなるのかしら、すごく不安をこの頃ちょっと覚えているものですから。

●総合政策部長

ご提言ありがとうございます。たしかに市の所掌する部分というのは義務でありますから、小学校中学校ということ、教育委員会の範囲はそうになってしまう。高校になりますと県立高校ということになれば岩手県、県の段階になるという。あるいは私学の関係も岩手県ということになるわけではございますけれども、ただそうは言えども市内に高校に行きたいけれども行けない事情があるお子さん、おそらくいらっしゃるだろうと思います。その辺につきましても、市の所掌は離れるかも

しれないけれどもそういう意味じゃなくて子育ての支援とかそういったような意味でですね何か対策ができるものがあれば、こういったような計画の中でも検討する必要があるんだろうと思いますので、ご意見としていただいまのは承りたいと思います。ありがとうございます。

●小原宏委員

第1期中期プランの中のこの素案の中でこれが花巻市だというのをどの辺あたりに力点を置いているのかちょっとお教え願えれば幸いです。

●総合政策部長

非常にボリュームある計画でございますけれども、この計画のベースになっているのはあくまで薄い方の概要版、10ヶ年の計画ということで、その第1期目の3年間は重点的に4つの戦略、とくにも今やらなければならないのが、まず、いの1番、人口減少対策というふうに認識をいたしているところでございます。花巻市の特殊合計出生率、いわゆる一人の女性の方が生涯に子どもさんを何人生むかという、15歳から40歳代までの統計があるわけでございますけれども、花巻市は平成24年が1.38、25年の直近のもので1.39。0.01ポイント上向きにはなった結果がございますが、やはり都会化している自治体の範囲ほど、例えば盛岡ですと1.32とか、花巻よりさらに生む子どもさんの数が少ない。東京都などを見ますと0.0いくつとかっていう数字になってしまいます。逆に皆さん岩手県内の14の市で1番出生率、生む子どもさんの数が多い自治体、どこかわかりますか、どこだと思います。北上市？ですよね。北上とかそういう声があるんですが、実は遠野市なんです。なぜ遠野市なのかなって考えてみますと、実際に地域づくり課の職員が遠野に行っていろいろお話をした時にちょっと話題にしていたのがですね、遠野の場合はやっぱり地域づくりの中で、昔からの結いとか、やがらといたらいいんですか、家々っていつきあいが今もあるんだと、ということなんです。だから農家であればお嫁さんもらって、お孫さんが3人出来ました4人出来ましたっていう家が多い。ただ、対象がですね非常に少ないんだそうです。何百世帯、百何十世帯だかの統計だよそれは、って。だからそれでもって良いのかなっていうのもあるんですが、しかしながら遠野においては、やはりまだそういう地域というのがあると。従って出生率も高い、いわゆる子どもさんを生んでもおじいちゃん、おばあちゃんがお孫さんを見てあげられる環境がしっかり残っているということなんだろうと思います。増田前知事さんが、なぜ人口集中、東京に集中しちゃダメだって言うのは、まさにそこでございまして、みんな地域の若い女性の方が東京に行ってしまったら、出生率が1.いくらになっちゃうんですよ。そうすると、我が国の人口ってどんどん都会を中心に減っていくわけです。地域もこのとおり、花巻でも1.4足らずという部分になってしまいます。そうすると我が国自体が子どもさんが居ない国になってしまう、そういう方向になってしまうということで、我が国のほんとに危機だということで取り組んでいくということでございます。政府も各省庁あげてですね、今、盛んと施策を構築している段階でござい

ますんで、花巻もそれら、例えば優位な制度などについては真っ先に取り組んでですね、取り入れて、少子対策を進めていきたいと考えているところでございます。答えにはなりません、参考までに申し上げました。よろしくお願いいたします。

●柳谷励子委員

最初の人口減少のところ見ました時に、就学前の子どものサポートとか、掲げてあるんですけども、東和町では小学校中学校が1校しかない中でそこの関わりってということが特別記載されていないのかなと思ひまして、いまのこととも絡むんですけども、地域で小学校中学校もり立てていくってような、なんかそういうのがあったら良いのかなって。というのはですね、以前の旧小学校であれば、地域の方々と小学生とのふれあいてのがすごくありまして、地域に支えられてる学校だっているのを、すごく子どもも子どもを育てる親も感じる機会がすごくあったんですけども、やっぱり今、新しくなって体制がまだまだ整わない中で模索中であると思うので、そこを以前のように地域の方々に関わっていただいて、地域の中の学校であるってことをみんなで確認し合えるような、そういう施策をしていただければありがたいなと思っております。

●総合政策部長

ありがとうございました。89ページ子育て環境の充実というところにも掲げておりますように、子どもさんを育てるのは、家庭あり学校あり、そして地域ももちろん必要だということで、施策の方針の中にですね市民や企業に期待する役割というのも掲げてございます。その中でもやっぱり地域の皆さんにも地域の子どもの関心を持って、ということで市民一人一人、そして地域で地域ぐるみで取り組んでいく方向性は打ち出しております。ただ、具体的に、じゃあこういう事業で、っていうことについては、このプランの中では具体的に触れてないわけでございますので、ただいまのご意見については非常に貴重なご意見でございますので、所管する部署、それぞれまたがるんですけども、私は通させていただきます、いずれこれからそういった施策を事務事業に下ろして展開していく中での参考とさせていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

●松葉孝博委員

先ほどからすごい良いお話だなと思っております、全くその通りだなと思っております。恵さんが言ったやつで不登校の人のとかって、全くその通りで、花巻を誇りに思わない子どもたちが花巻に残るはずはないわけで。今、小学校4年生は10歳なんです。ちょうど10年たつと二十歳になるんですけども、小学校4年生の子どもたちが花巻に生まれたことをほんとに誇りに思えるようなですね、人口減少の対策っていうのはこのままやってもらうんですが、新たに今いる小学校の子どもたちが、この花巻に住み続けたいとか、やっぱりお父さんお母さんは、良い高校に入れて良い大学に入れて、一流企業に勤めてもらいたいと思ひて、良い高校に入れると思うんですが、そうすると自然と首都

圏の方に行ってしまった。まあそれはそれはとても良いことなんですけども、やっぱりでも花巻が好きなんだという子どもたちが自信をもってみんな口をそろえて言えるような何かを作ることが一番大切かなっていうふうな感じ。それが人口減少対策になるんじゃないかなっていうふうに思います。

●総合政策部長

松葉委員さんのご提言、全くその通りでございまして、小さい子どもさんのうちから、この花巻、東和の良さっていうのは、経験していただきたい、そういう施策も展開していかなきゃならない。そうすると、今度は大きくなって学校に、そして1回は中央に、例えば大学で出るとか、あるいは1回は東京に行って就職するっていう、これはそれを引き留めるっていうことまでは、行政も地域もそれは出来ない、やっぱり個人の認識、ご理解があると思うので、ただ、そうはいえども、やはり今、Uターンっていうことも結構ございますよね、ある程度、都会に出てスキルを身につけて戻ってくるって人たちも多い訳であります。そうした時に花巻市が何をしなければならぬか、っていうと、やっぱりここで戻ってきてここで暮らしていける所得を得なければならぬということから、そういう所得を得られるための仕事の間を、この花巻に用意して待つてなきゃいけない、ということもあるわけでございますので、さまざまな仕事の分野、暮らしの分野、人づくり分野、みんな関わる、そういうことで重点戦略として、横断的にやっていきたいと思いますということでございます。ただいまのご提言につきましても、さらに詳細、下ろしましてですね、参考にさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

●地域振興課長

たぶんこの話、知れば知るほど、もっといろいろお話を聞きたいとか、質問したいことに駆られるとは思いますが、ちょっと今日です、後ろの方時間決まっておりますので、大変申し訳ありません、ここで打ち切らせてもらってよろしいですか。

それでは、花巻市まちづくり総合計画第1期中期プランについては、終わらせていただきます。ここで5分ほど、休憩時間を取らせて下さい。

【休憩】

6 議題

(1) 会長及び副会長の選任

※互選により次の通り決定（仮議長・地域振興課長）

・会長 小原宏委員

・副会長 松葉孝博委員

●小原宏会長

では、私の方で進めさせていただきます。3時20分までというふうなお話でございますので、それまでに終了するようにいたしたいな、いうふうに思います。それで、議題の方にはないんですが、皆様に確認をしておきたいというのは、この地域協議会、今度、いっぱいの方が新任でおいでなられます。それで、地域自治区条例とかあるわけですが、この協議会について皆さんよくご存じなのかということ、ちょっと疑問なところありますので、例えばですね、市の附属機関であるんだということでございます、その中身についてもう少し砕いて話してもらえればと、事務局の方でお願いできればと。お願いします。協議会のことについて理解を深めてから前に進めたい、いうふうに思います。これがわからないとですね次に進むという時、大変なんですよ。地域協議会というのはこういう立場でこういうようなことですよと、これ以上は出来ませんよと、いうことも含めてお願いします。

※資料1 ページ目「地域自治区及び地域協議会の概要」について改めて説明（地域振興課長）

●小原宏会長

はい、ありがとうございます。東和地域協議会では花巻市の方から、諮問しなければならない事項ということが、この条例の中にありまして、その分につきましては、諮問ということを行います。それで、ここの場で協議をしまして、答申をします。これは地域協議会の1番の仕事でございます。次に、5ページのところを開いていただければありがたいですが、1番のところ、諮問・答申及び依頼による会議っていうのは、さっき話しました。それから、自主活動と書いてありますが、このことにつきましては、この地域協議会の委員の皆様から、東和地域ではこういう問題があるので、これについて皆さんで協議しましょうという、自分たちの勉強会なんです。その勉強会について、とりまとめたものを本来であれば、花巻市長さんよ、こういうようなことしてくれよと、いうふうなことを、お願い出来るか出来ないかということなんです。実は、今までは出来なかったんですよ。今度の市長は受けるかもしれない。という微妙な話になってくる。そういうことなので、今までは諮問とか諮問がきたものに答申するというだけでございまして、勉強会してもどこさいったのやら、なんだかわからなかったんです。ですが、地域協議会で勉強会をした、自主活動したものを、市長さんさ行ってますかということで、意見があったということについては、冒頭で総合支所長さんが「ちゃんと花巻市長に報告しております」こういうふうなお話を承っておりますので、意見としてとりまとめなくても、地域協議会の自主活動の状況については、花巻市長の方に上がっているということのご理解をお願いしたい。意見書として紙で出さなくても会議の中身につきましては、市長さんの方に報告します、報告してます、という東和総合支所長さんの話ですからその通りだろうと。

そのことがその通りなので、今後、自主活動を積極的にやりたいというふうに考えていますから。23年度24年度の諮問答申というのはなかったんですよ。6ページ7ページに書いてありますけれども、このとき自主活動だけやってきた。そうするとさっぱりだれも答弁してくれる人が居ないから、何のことだかわけわからなくなってるわけです実際のところ。ですけれども、聞いてくれるそうなので、まあ、ただ聞いてくれるだけでそれを市政に反映するかしないかは市長の判断でしょうから、これはわかりませんよ私らの方には。だからぬかに釘刺したような話になってしまってるわけですよ。その辺あたりをよくご理解の上、委員さんとしての職務を果たしていただけますように、よろしく願い申し上げたい、いうふうに思います。

そこまでおわかり願えれば、その次にほんとの議題に入らせていただきます。

(2)平成26年度東和地域協議会自主活動計画について

●小原宏会長

(2)平成26年度東和地域協議会自主活動計画について、ということですが、これは前にそれぞれの委員の方々から、なにか自主活動するについてご意見ございませんか、いうふうなことで、出欠席の通知書とそのほかにあったと思うんですが、その中から、何名かの方からか、ご意見がございました。こういうふうなことをしたらどうかと、いうふうなことがございましたので、最後10ページですね。いろいろと私が見ますというと、ずっと前からこのことについては何回も話題に上がっている事項でございまして、ですが、大事なことなんです。これらについて、これからどのようにして自主勉強会をしていこうか、こういうことについて、これから皆さんにおはかりしたい、いうふうに思います。

これから一人ずつ話をしますと、時間までには終わりません。

下林育男さんからは、少子高齢化の問題、吉田英雄委員さんからは高等学校と土沢商店街の活性化をはかるための方策、こういうふうなことでございます。それから多田さんからは鳥獣の関係の防止方策を作れるかどうか、いうふうなことでございます。それから、渡部さんからは子ども用品の無料提供とかいろんな家庭ゴミの話から、いろいろと書かさってきています。おはかりしますが、これらにつきましては、どれから先にやったら良いのか、それらのことと、次回に自主勉強会をする時期等について、会長の方にお任せ願えるでしょうか。それで閉めたいと思いますが…。

次にはどのテーマで自主勉強会をするか、時期はいつ、いう部分について、9月になるんだか、少し前の方が良いんだかということなんです、9月頃に、というふうなことなんで、10ページのことについて、次、何をやるかということが決まりましたら、皆さんで考えてきてもらおうと、いうことにしたいなというふうに思います。とにかく頭の中に入れてきていただいて、お話をすると、いうことでございますから、よろしく願いしたいと思います。

それで、今日の地域協議会の議題を終わってよろしゅうございますでしょうか。では議題をこれ

で閉じさせていただきます。ありがとうございました。

7 その他

●司会

7番のその他ございますけども、事務局の方からは…

●地域振興課長

実は、4月の市長執務日の時に、前地域協議会の方々と懇談会してるんですけども、新しく決まってから、新しく組織がですね固まってから、もう1度開くってということが予定されてございます。時期についてはまだはっきりしてございませんけれども、市長と直接お話する機会があらうと思いますので、よろしく願いいたします。予告です。

●司会

事務局からは以上でございますが皆さんの方からありましたらよろしく願いします。よろしいですか。なければ。長時間どうもありがとうございました。以上をもちまして第1回の会議を終了させていただきます。

8 閉会